

# 愛らしい猫、木版画で

来月17日から さいか屋藤沢店

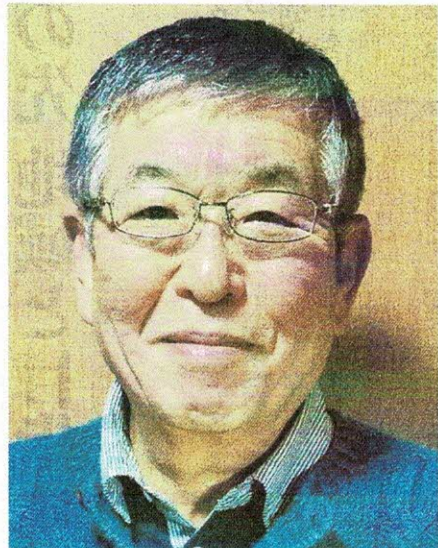
亀井野在住の木版画家・高橋孝夫さん(74) 人物風土記で紹介の個展「ようこそ、猫の館へ」が、2月17日(水)から23日(火・祝)まで、さいか屋藤沢店5階ギャ



作品「烏鬼忽忽II」

# 人物風土記

○:「宝石のような瞳、しなやかなモフモフの体、プニプニの肉球、マイペースで自由奔放な性格…。魅力は、あげたらきりがなしよ」。猫の愛らしさを木版画で表現して50年以上。来月にはさいか屋藤沢店で個展を開く。寝ている猫、じゃれ合う猫、ネコ、ねこ…猫だらけの作品、約70点を展示する。



●2月17日から、さいか屋藤沢店で個展を開催する木版画家の

## 高橋 孝夫さん

亀井野在住 74歳

## 木版画で描く、猫の魅力

これまで10匹を飼った。愛賞。以来、一途に猫を瞳、しなやかなモフモフにぎやかな「家族」をモデルに約20年前、大きなあくびをする様子を描いた作品が美術展で大賞をとをきっかけに始めた。

その後毎年の年賀状を製作するなど、自己流で地道に創作を続けた。50歳を目前に「今後も長く熱中できるもの」と通信講座に申し込み、本格的に創作開始。バレンも竹の皮から手作りするこだわりで、一つひとつの作品を愛情をこめて丁寧に仕上げ。想像以上に良いものができたりする偶然の面白みの虜になっ

○:代表作『烏鬼忽忽II』では、凜とした佇まいで正面を見る黒猫の周りを子猫から成長する猫が囲むことで、歳月の過ぎゆく速さを表現。単に愛らしさを描くだけではなく、時の流れや人生と重ね合わせる点が特徴的で、評価も高い。「猫の魅力は温かさが伝わる木版画で、どんどん発信したい。同時に、作品を通じて、自分がその時々で感じていることも伝えられれば。創りたいものがたくさん」と優しい笑顔を見せた。

ラリーで開かれる。高橋さんにとって初となる市内での展覧会。飼い猫をモデルに、日常生活での猫の姿や表情を、深い愛情と温かいまなざしで捉え、見る人が思わずほっこりする作品、約70点が展示される。高橋さんは、小学生の頃に自己流で木版画を始め、50歳目前に通信講座を受け本格的に学ぶようになった。以来20年以上に渡り、創作活動を続けている。2019年には日本版画会展で東京都知事賞を受賞。そのほか数々の展覧会で入賞している。時間は午前10時から午後7時(最終日は午後3時)。入場無料。状況下により変更する可能性あり。問い合わせは同店 ☎0466・27・1111へ。

## 県小学生バレーボール大会 市内2チーム銅メダル



藤沢クラブ(上)と湘南台ジュニアのメンバー

# タウンニュース

2021年 (令和3年) 1月15日(金) No.1047

発行 株式会社タウンニュース社 <https://www.townnews.co.jp> 藤沢版 ■編集室: 〒251-0021 藤沢市船泊神門5-13-19 TEL: 0466-55-4777 (代) FAX: 0466-55-4888

発行責任者: 宇山知成 ■編集長: 原田一樹



加藤 涼

あっとほーむデスク ネコと聞いて思い浮かぶのは、ジブリ映画「魔法の宅急便」のジジ。知らない町で魔女修行する主人公のキキとおしゃべりするジジは、ユーモアたっぷり好きな人も多いいはず。今号の人物風土記で紹介している高橋孝夫さんは、木版画でネコを描き続けて50年。ご自身に飼っている愛ネコをモデルにした作品は、ユーモアがあって、ジジのように、しゃべりだしそうだと感じました。高橋さんいわくネコの魅力は「宝石のような瞳、モフモフの体、プニプニの肉球」など。確かに想像するだけで癒されそうです。